

# ほたてがいの生産を支える技術開発

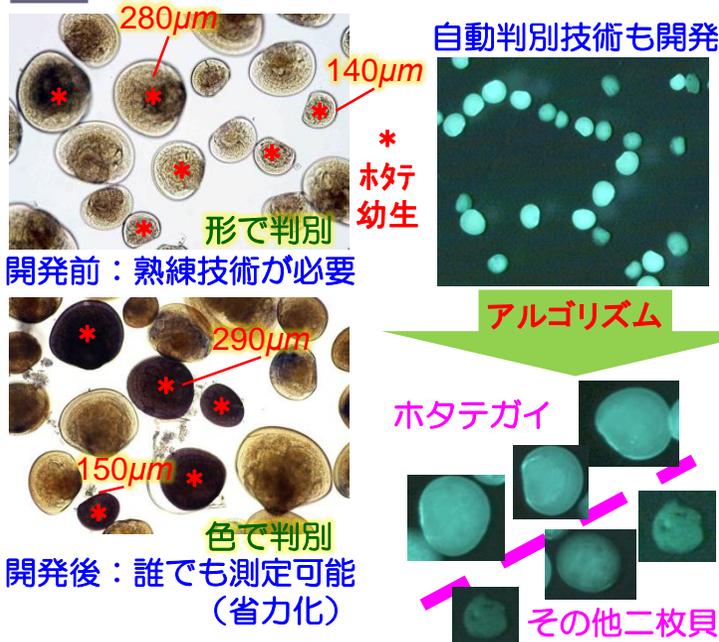
## 背景

- ホタテガイ生産(H25: 45.3万トン、817億円)は、人の手による栽培漁業(天然採苗\*→中間育成→放流・養殖→収穫)。
- ホタテガイの生産に必要な35億粒の種苗を確保するため、海中の幼生分布を迅速に知る必要がある。
- 放流後の成長不足をなくすために、過密にならない様にホタテガイの正確な分布を知る必要がある。

\*天然採苗：養殖等に用いる稚貝は、海中を浮遊しているものを採取

## 成果

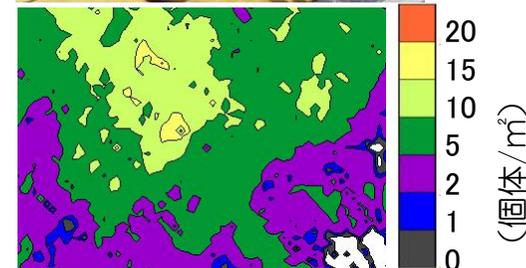
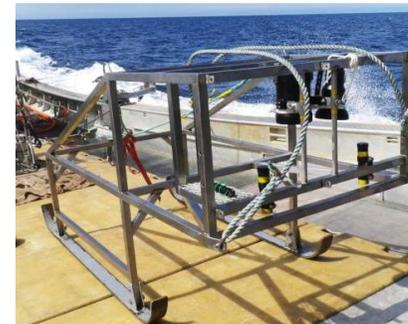
### 1 【採苗】 幼生自動解析技術開発



35億粒の種苗を安定確保

### 2 【放流・増殖】 高精度資源量推定技術開発

けん引式の海底動画撮影装置・自動判別技術の開発



放流/間引きを行って成長促進

高品質なホタテの収穫

## 成果の活用状況

- 幼生の特異染色法は全道7指導所に普及。「採苗情報」は、全道で放流・養殖される35億粒のホタテガイに活用されている。
- 画像解析装置は特許を取得。海底動画撮影装置は、網走・根室地区に導入され、6漁協により共同利用されて資源量調査が迅速化している。今後、他の漁協等も従来の写真撮影法から順次入れ替わる予定。